

抽水  
植物

# 可憐な花で水面を覆う水陸両用の 恐るべき外来植物

発行／2018年3月 農林水産省農村振興局農村環境課

## ■オオバナミズキンバイ／ウスゲオオバナミズキンバイ

特 緊

抽水型のオオバナミズキンバイ(写真は8月)。



ウスゲオオバナミズキンバイの実  
(写真は8月)。



オオバナミズキンバイ

茎:高さ0.3~0.8m、花:直径4~5cm

ウスオオバナミズキンバイ

茎:高さ0.3~1.2m、花:直径3cm

水中~陸上まで生育でき、葉の形も変わる。

開花は6~10月。



ウスゲオオバナミズキンバイ  
の抽水型は葉が細い。  
(写真は8月)

### ■ミズキンバイ



近縁の絶滅危惧種。  
環境の変化で次々に消滅。  
花の直径は2~3cm。

## このように繁茂しています!!

琵琶湖の湖岸でマット状に広がる  
ウスゲオオバナミズキンバイ(写真は8月)。



水路の出口を塞ぐように密生する  
ウスゲオオバナミズキンバイ(写真は8月)。



※水利施設への被害は、ほとんど確認されていないが、琵琶湖で爆発的に増えていることから、水利施設に侵入すれば、通水障害などを起こすおそれがある。

特(特定外来生物)は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。

緊(緊急対策外来種)は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種です。

詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

## ● 生育環境 (どんな場所から増えて行くか！)

## 乾いた陸上でも生育する



水面上にマット状に広がるウスゲオオバナミズキンバイ。  
(写真は8月)



ため池のコンクリート護岸の上で生育する  
オオバナミズキンバイ(写真は8月)。



湿生植物の中に混ざって生育するオオバナミズキンバイ。  
(写真は8月)



水中で葉を広げるオオバナミズキンバイ。  
(写真は8月)

## ● 繁殖方法 (このように増えて行く！)

## 茎の破片と種子で繁殖する



冬期は低温で大半が枯死するが、  
生き残った茎断片は発根、再生し、  
次々と芽を出して茎を伸ばす。  
(写真は8月のオオバナミズキンバイ)



絡まりあった茎が、水中で浮かんでいる  
ウスゲオオバナミズキンバイ(写真は8月)。

## ● 対策 (これらについて心得よう！)

- 茎の破片からも再生するので、それらもできるだけ回収する。
- 乾いた陸上でも根付いて再生するおそれがあるので、ブルーシートやアスファルト等の上に置く。
- 種子で繁殖するので、開花、結実前に駆除する。

### 本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768  
東北農政局農村環境課 022-221-6256  
関東農政局農村環境課 048-740-0514

北陸農政局農村環境課 076-232-4533  
東海農政局農村環境課 052-223-4631  
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417  
九州農政局農村環境課 096-300-6436  
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652

農林水産省農村振興局農村環境課 03-3502-6091